



# TOSHI LANDSCAPE

# 目次

## What is Toshi Landscape? トシ・ランドスケープとは？

トシ・ランドスケープとは？	1
グリーン・マネジメント① 自社で一貫した管理	2
グリーン・マネジメント② 科学的な知見（アーボリカルチャー /arboriculture）と現場経験の融合	3
グリーン・マネジメント③ 長期的な植栽管理メンテナンスの計画 / プランニング	4
トシ・ランドスケープの特長	5
会社概要	6
管理実績（2021年現在）	7

## Planting management 植栽管理

長期的な環境づくりへ向けての植栽管理 マンションの植栽管理の考え方	8
長期的な環境づくりへ向けての植栽管理 生育ステージ別マンションの植栽管理作業	9
長期的な環境づくりへ向けての植栽管理 樹木の大きさと密度の考え方（25年目以降～）	10

## Tree Decline Cause Diagram 樹木の衰退原因図

樹木の衰退原因図	11
----------	----

## Tree doctor diagnosis soil survey 樹木医診断・土壌調査

樹木医診断・土壌調査	12
植栽基盤	13

# **What is Toshi Landscape?**

トシ・ランドスケープとは？

# トシ・ランドスケープとは？

## 都市の景観に付加価値を 人と都市をグリーンでつなぐ

Toshi（都市の住環境）における Landscape（景観・風景）を、**グリーン・マネージメント**（植栽の育成管理・植栽資産への付加価値管理経営）を通じてお客様と創造し、居心地の良い空間づくり、ライフスタイル・資産価値の向上をグリーンで提供します。



① 自社で一貫したワンストップ管理

② 科学的な知見（アーボリカルチャー / arboriculture）と現場経験の融合

③ 長期的な植栽管理メンテナンスの計画 / プランニング

※グリーン・マネージメント（植栽の育成管理・植栽資産への付加価値管理経営）は当社が提唱する、長期的な視点での植栽管理によって建物全体の資産価値を向上させる為の植栽管理手法です。

# グリーン・マネージメント

## ① 自社で一貫した管理

情報の共有やご提案、緊急対応などがスピーディーです。また、適正価格と均一な品質を保証します。



剪定



病害虫防除



施肥



芝生の管理



除草・草刈



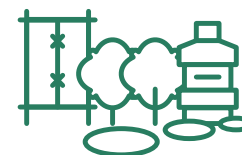
計画 / プランニング



樹木医診断・土壌調査



高木管理・特殊伐採



作庭・垣根



コンサルティング

# グリーン・マネージメント

## ② 科学的な知見（アーボリカルチャー / arboriculture）と現場経験の融合

欧米で発展してきたアーボリカルチャー / arboriculture（樹木学・樹芸学）の専門技術・知識を植栽管理に積極的に取り入れています。その中にロープワーク・ツリーライミング技術を用いた高木の管理技術があります。作業車（高所作業車やクレーン車等）が作業出来ない都市部の限定された環境でも剪定・管理や伐採作業が、これまでの現場の豊富な経験との融合で、より安全に、よりきめ細やかな育成管理、1年を通して美しい景観を最大限維持できる自然風剪定、ハイクオリティな管理を適正価格で提供します。

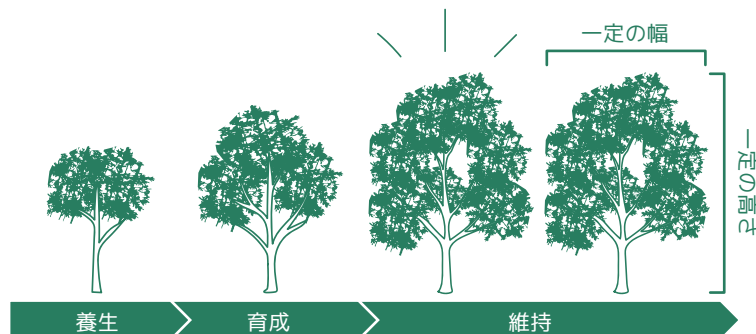
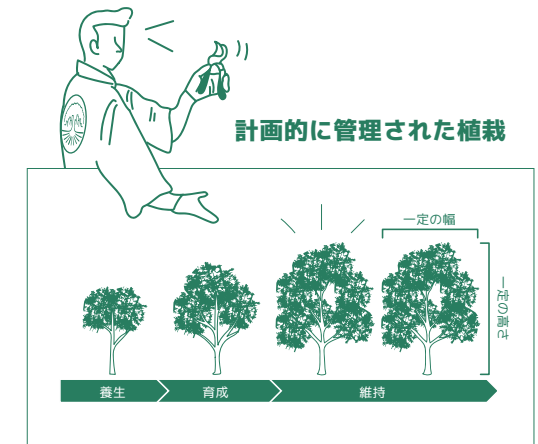


# グリーン・マネージメント

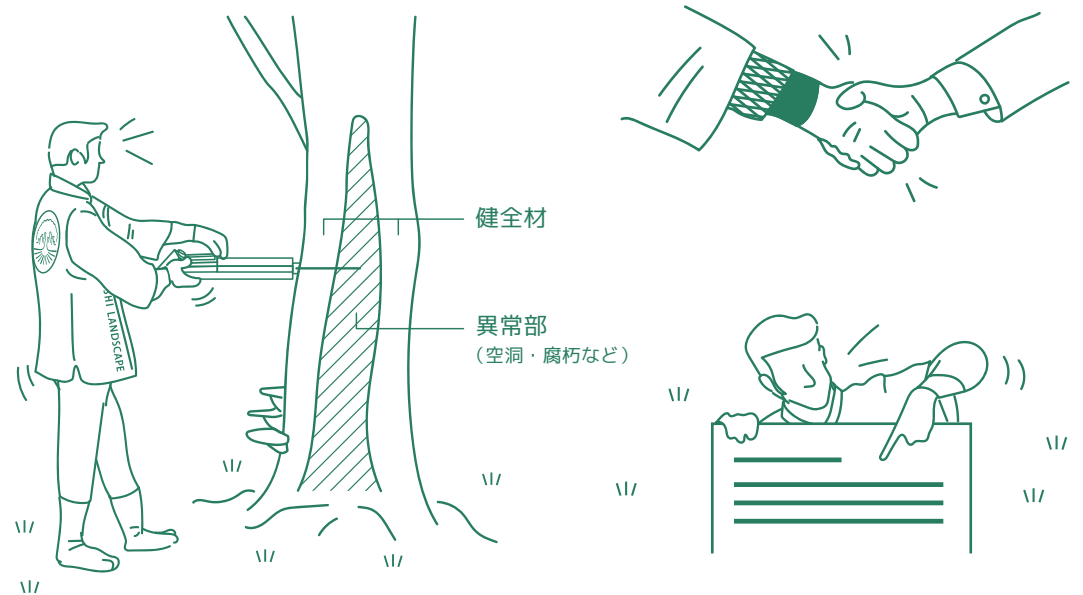
## ③ 長期的な植栽管理メンテナンスの計画 / プランニング

長期的な植栽管理のプランニングには、

- ・ 樹木への高度な専門的知識（樹木医技術 + アーボリカルチャー / arboriculture）
  - ・ 数年～数十年先を見据えた植栽管理技術
  - ・ 施工図やイラストを使用した、わかりやすいプレゼンテーション力
  - ・ お客様とのコミュニティ形成
- が必要不可欠だと考え、行っています。



計画的に管理された植栽



# トシ・ランドスケープの特長

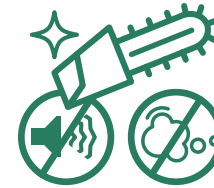


自社スタッフで一貫しての管理  
(ワンストップ)



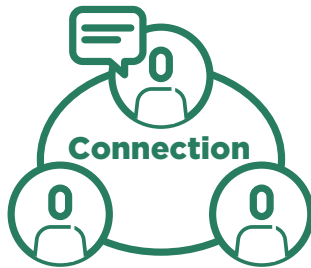
## Planting management

植栽管理と植栽に付随した工事  
(外構、電気、水道) に特化した造園会社



## Consideration

最新の海外製の  
バッテリーツールを導入。  
騒音、排ガスによる問題を軽減



迅速な連絡と対応、  
管理品質の均一化、  
社内での情報の共有化



## Tree doctor

樹木医による  
定期点検や診断調査



## Trust

管理の質だけでなく、  
問題点への提案解決力への信頼と実績

## 会社概要



会社名	株式会社トシ・ランドスケープ (TOSHI LANDSCAPE Inc.)
資本金	500 万円
設立	2018 年 3 月 株式会社トシ・ランドスケープ 法人設立代表者 代表取締役 中村雅俊
社員	10 名 (2020 年 11 月現在)
住所	T 03-3442-8491 (8:30 ~ 18:00) F 03-6277-0377 M info@toshilandscape.co.jp HEAD OFFICE 〒150-0013 渋谷区恵比寿 3-9-12 OFFICE / YARD 〒146-0084 大田区南久が原 2-31-28 恵ビル1F
保有資格一覧	樹木医 / 1級造園施工管理技士 / 1級造園技能士 / 植栽基盤診断士 / 屋上緑化コーディネーター / 自然再生士 / 松保護士 / 東京都農薬管理指導士 / ドローン操縦士回転翼3級
取引先 50音順・敬称略	住友林業緑化 / 積水ハウス / 大京アステージ / 大和ライフネクスト / 東邦レオ 日本ハウズイング / 野村不動産パートナーズ / 長谷工コミュニティ 三井不動産レジデンシャルサービス / 三菱地所コミュニティ
加入損害保険	AIG 損害保険株式会社 / 賠償責任保険 (企業用) / 対人 3 億円 対物 3 億円
その他	弊社の管理の特色・会社概要につきましては、ホームページをご参照ください。 株式会社トシ・ランドスケープ <a href="https://toshilandscape.co.jp/about">https://toshilandscape.co.jp/about</a>

## 管理実績 (2021年現在)

### ● 植栽年間管理実績

- ・パーク・コート恵比寿ヒルトップレジデンス（東京都渋谷区）
- ・ザ・ライオンズ上野の森（東京都文京区）
- ・メイツ深川住吉（江東区扇島）
- ・グランドメゾン西麻布（東京都港区）
- ・インペリアル浜田山（東京都杉並区）
- ・プラウド上鷺宮（東京都杉並区）
- ・プラウド白金台（東京都港区）
- ・東急ドエルプレステージ池田山クレアモント（東京都大田区）
- ・リジェ奥沢エスト（東京都目黒区）
- ・セルテシティオ世田谷烏山（東京都世田谷区）
- ・ヒルサイド久末（神奈川県川崎市）
- ・イスラエル大使館（東京都千代田区）
- ・聖公会神学院（東京都世田谷区）
- ・渋谷同胞幼稚園（東京都渋谷区）
- ・代々木至誠こども園（東京都渋谷区・幼稚園）
- ・寿昌院（東京都江戸川区・社寺 ※天然記念物の松の管理）
- ・小村井香取神社（東京都墨田区・社寺 御神木管理）
- ・古川橋病院（東京都港区）
- ・山田記念病院（東京都墨田区）
- ・株式会社ファーストリテイリング 有明本部（東京都江東区）
- ・その他マンション管理・施設緑地管理・個人邸

### ● 樹木医 診断実績

- ・保護樹木 マンション植栽の危険度診断
- ・保護樹木 地中埋設物（電気・下水道）掘削工事立会い
- ・保護樹木 高所ロープワーク外観診断及び高所精密診断（レジストグラフ PD600）
- ・天然記念物樹木 樹勢回復治療作業
- ・住宅建築に伴う街路樹移植可否診断
- ・UR 住宅植栽に伴う植栽基盤診断（長谷川式土壌診断）
- ・東京都大田区マンション（400戸超）  
植栽年間管理コンサルティング 2019年
- ・神奈川県横浜市都筑区（400戸超）  
植栽予算低減コンサルティング 2019年～
- ・神奈川県横浜市緑区（200戸超）  
植栽大規模改修コンサルティング 2019年～

その他東京都、神奈川県を中心に管理作業を行っております。

# **Planting management**

**植栽管理**

# 長期的な環境づくりへ向けての植栽管理

## マンションの植栽管理の考え方

植栽管理は、個々の植物を維持するとともに、植物の集合体として空間に応じた目的・機能を発揮させることにあります。機能条件は、下図のように住環境の向上やプライバシーの保護、侵入防止など機能に応じて植えられています。一方、環境条件は、日照や風といった自然条件のほか建物基盤や設備など環境に大きな制約を受けています。このため、樹種によっては生育が良好で大きくなりすぎる場合もあれば、生育が悪く求める機能を十分に発揮できないような状態になる場合もあります。

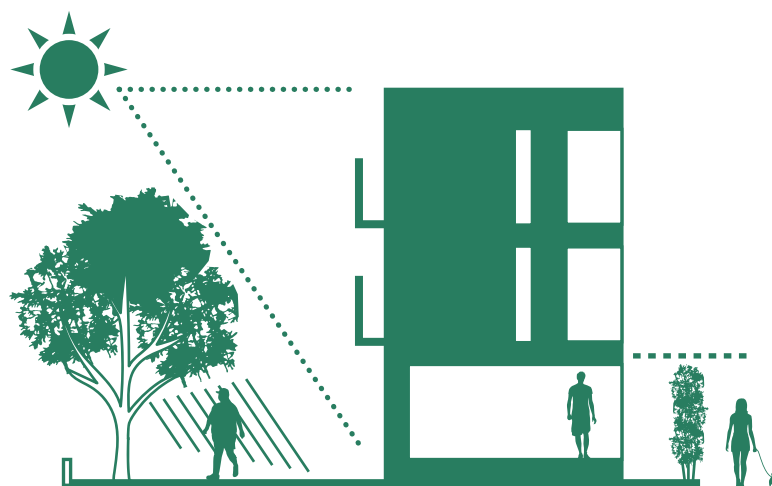
植栽は、植付けから定期管理により機能を十分に発揮できるような高さや枝張りなどをコントロールしながら健全な状態で生育できるよう手入れをしています。年月を経ると、環境の制約などにより弱った箇所や過密になる箇所も出てきます。これらに対して、定期管理に加えて、良好に維持管理して行くための補助的な作業が必要になってきます。

### 機能条件

- 敷地の明瞭化
- 侵入防止
- プライバシーの保護
- 目隠し・遮蔽
- 四季の移ろい
- 景観演出
- 住環境の向上

### 環境条件

- 日照
- 風
- 病虫害
- 緑陰（太陽から）



# 長期的な環境づくりへ向けての植栽管理

## 生育ステージ別マンションの植栽管理作業

生育ステージ		1 活着・養生期間 (竣工～3年)	2 育成・養生期間 (4～10年)	3 抑制・管理期間 (10～25年)	4 更新・再生期間 (25年以降～)
		環境に馴化させ、根付くまでの期間。	植物が根付き生長を始め大きく育成していく期間。	自然な樹木の形を目指した自然風剪定で、計画に基づいた目標樹形景観を維持していく期間。	衰弱や腐れ、枯れなど樹木の状態の総点検や費用面の確認など、今後の管理方針の見直しを行う時期。
主な管理内容		かん水・施肥など生育を助ける管理が主体となります。まだ大きく生長はしていないため、剪定は、枯れ枝や徒長枝にとどめます。※雑草は初年度から繁茂するため、除草は行います。	個々の樹木の大きさを決め、定期的な剪定管理を行います。また、適正な植栽密度を確保して、風通しを良くし病虫害防除を行っています。	生育状況に応じて、枯死・衰弱樹木の伐採撤去後、補植による後継樹の育成などを行います。(大きくなりすぎた樹木の今後について検討します) また、活力度が落ちた補込み地や芝生地の更新など使用する植物の変更なども視野に入れて管理します。	竣工からこれまでの管理内容により、樹木の大型化や、衰弱、枯れなどによる危険木の顕在化、管理費用の増加など植栽管理についての総点検や大規模修繕(改修)が必要になります。 樹木の状態については樹木医診断を行います。工程や費用面の見直しには管理ノウハウを活かしたコンサルティングを行います
定期管理	剪定	●	●	●	●
	除草	●	●	●	●
	施肥	●	●	●	●
	病虫害防除	●	●	●	●
	植栽巡回定期点検	●	●	●	●
スポット	樹木補植			●	●
	芝生補植		●	●	●
	植え替え		●	●	●
	間引き			●	●
	枯枝木伐採			●	●
	倒木・障害木・実生木撤去			●	●
	支柱撤去または交換	●	●	●	●

# 長期的な環境づくりへ向けての植栽管理

## 樹木の大きさと密度の考え方（25年目以降～）

建物などの周囲に植えてある樹木は、空間に制約があることから、定期的な剪定作業などにより図1に示すように一定の高さや枝張りで維持しています。しかし、樹木は生き物であり、一定の大きさを維持を続けても少しずつ大きくなり、年月を経る（生育が良好な場合）と、植栽全体が高密度になってきます。

また、図2のように、竣工時は、苗木から樹間を狭くとり高密度に植えられています。このため、年月を経て、一定の大きさを枝張りで維持を行っていても生長とともに、過密になる箇所や環境、樹木の生長速度や強さなどの影響により、生育にばらつきが出て来るため、間引きなどによる密度管理と、一定の大きさを保つ管理が必要となります。

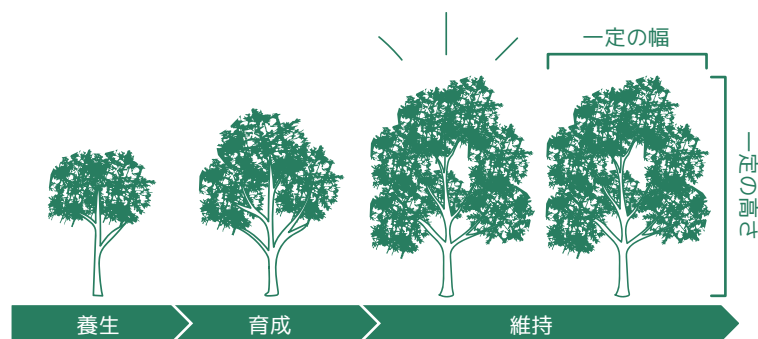


図1 計画的に管理された植栽

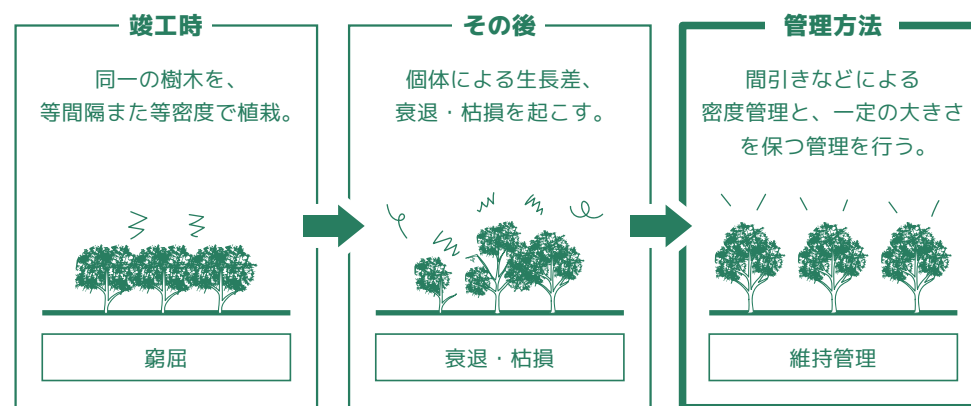


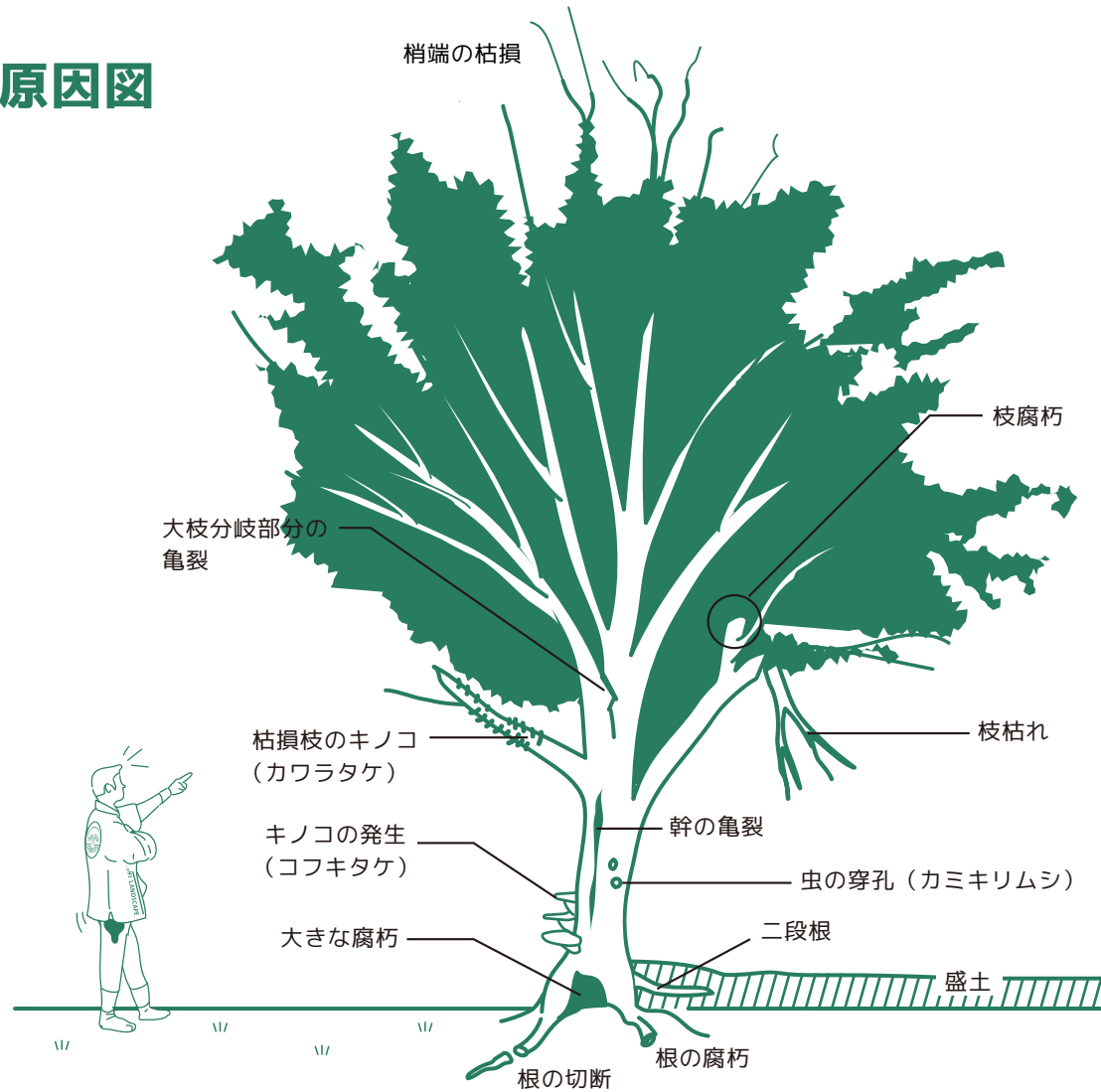
図2 植栽密度管理の流れ

# **Tree Decline Cause Diagram**

樹木の衰退原因図



# 樹木の衰退原因図



## 周辺環境の変化

- 幹に直射日光が当たるようになった。
- 強風が直接当たるようになった。
- 日陰になった。

## 土壌の変化

- 根本周辺での土壌掘削工事
- 根本周辺での舗装工事
- 根本周辺での盛土や転圧

## その他の変化

- 葉の量、色、大きさの不良。
- 枝の伸びが不良。
- 根本周辺の土壌の固結。

# **Tree doctor diagnosis soil survey**

樹木医診断・土壌調査



## 樹木医診断・土壌調査

トシ・ランドスケープには都市部の植栽環境での植栽・土壌の診断・調査に特化した「樹木医」や「植栽基盤診断士」が所属しています。

専門機器を取り揃え、経験豊富な専門家が豊富なデータをもとに診断することで、お客様の樹木の状態を適切に診断します。





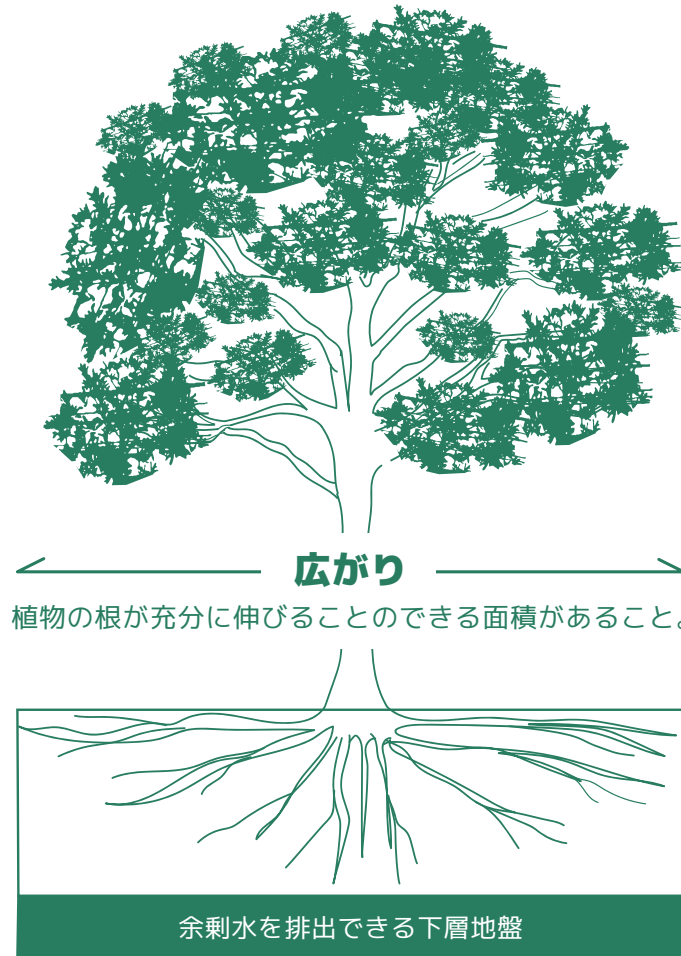
## 植栽基盤

植栽基盤とは、植物の根が支障なく伸長して、水分や養分を吸収することのできる条件を備え、ある程度以上の広がりがあり、植物を植栽するという目的としての土層である。

**物理性の条件** 適正な硬度 / 良好な保水性 / 良好な透水性

**科学性の条件** 有害物質を含まない / 適正な酸度 / 適度な養分

※一般社団法人 日本造園建設業協会より引用。



**広がり**  
植物の根が十分に伸びることのできる面積があること。

**深さ**  
植物の根が十分に伸びることのできる土層厚があること。  
(有効土層)